

問

南地区の区画整理事業
に変わる新たな開発計画

南地区の区画整理事業

生涯学習課長 クーラーへの
助成については町の財政
的な問題もあり、今後の検討
課題である。自治会のクーラ
ー設備状況は十行政区です。

問

町が進めているいいあ
んべー共生事業やその
他の事業を地域の公民館を
利用する立場にある町は自
治会へのクーラー設備への
助成をすべきではないか。

自治会の公民館や集会所
のクーラー設備に助成す
べきと考えるがどうか



玉井正幸 議員

問

パレスチナ問題。アフ
リカの内戦。有事立法
自衛隊法改正等戦争に向け
て法制化され危機感がある。
平和教育の立場からして全
国的にみて後退する状況で
あり、沖縄は特別な地域で
あり、平和教育はしっかり
やっていたらいい。

教育長

歴史教育の教科書
を創る会問題は全国で採用
されたのは〇、〇三%です。
公民化教育で多くの若者達
を戦場に送ったという反省
のもとに再び子供達を戦争
に送らないという教師集団

を創る会問題は全国で採用
されたのは〇、〇三%です。
公民化教育で多くの若者達
を戦場に送ったという反省
のもとに再び子供達を戦争
に送らないという教師集団

問

以前からこの地域は浸
水騒ぎが起こる所です。
て、やっと具体的な工事が
進むとの事ですが、その内
容についてききたい。
土木課長 西小校周辺でも
あり、大雨のたびに浸水が
あり平成十四年に兼久地内
排水等の調査測量の事務を
行ない工事の検討に入る。

図書館建設と利用について

問

図書館は二〇〇四年に
は開館するとの事です
が順調か。図書館の利用に
ついては町内の小学校、中
学校、高校も含めて大学や
隣接する市町村の施設も含
めてインターネット化し、
どこからでも借りたり返し
たりできるようにシステム
づくりができないか

町長

小中校や町内外の図
書館との共有化とインター
ネット化をすすめていきたく
い。

小中校や町内外の図
書館との共有化とインター
ネット化をすすめていきたく
い。

図書館建設について

問

町有地を処分し基盤施
設の整備、図書館建設
等の資金捻出にあてる考え
はないか。

町有地の実態について



儀間信子 議員

総務課長 平成十三年三月
五日に西原町有地管理処分
計画検討委員会から答申が
あり、当面保有する公有財
産の利活用によって効率的
な行財政運営が強く求めら
れており、適性な価格設定
によって処分できるものか
ら処分されるようにとの答
申を受けております。
今賃貸者契約をしている
町外の二筆、町内二筆の物
件については鑑定評価を入
れているが、具体的な価格

問

せめてバス一本で行け
る首里高校、もしくは
首里東高校への拡大はでき
ないのか。

教育長

今県内の状況は一

問

生徒の個性やものの考
え方も多様化し、海外
に視点を向ける生徒が増え
つつある。学校選択は時代
の流れ、通学区の拡大は
必要と考えるが。

教育長

西原の中学校より
受験できる高等学校の通学
区域の拡大についてです
が、今中央教育審議会とい
うところで子供たちが能力
や適性、興味関心に合った
進路を的確に選択するため
の通学区域について拡大す
るようという答申が行な
われております。県では入
学者選抜制度検討委員会が
あり、その中で通学の問題
が検討され、通学を拡大
したときどのようなメリッ
ト、デメリットがあるか、
議論を深めてみたいと思っ
ます。

問

福祉の店(えぶろん)
に初の運営補助金、す
ばらしい配慮だ。今後の肢
体不自由児者に対する行政
の支援、又社協との関わり
支援について

福祉課長

町社協と連携支
援をしていく。今後えぶろ
んが自立運営できるよう、
国庫補助対象の事業、通計
援護事業の活用ができるよ
う指導助言をしていきたく
い。

町社協と連携支
援をしていく。今後えぶろ
んが自立運営できるよう、
国庫補助対象の事業、通計
援護事業の活用ができるよ
う指導助言をしていきたく
い。

問

市町村合併の問題は今
年の二月迄に地域勉強
会も終り、町民の意志も固ま
りつつあると思うが市町村
合併の住民投票をする考え
はないですか。

市町村合併の住民
投票をする考えは
ないか?



宮城秀功 議員

問

市町村合併の問題は今
年の二月迄に地域勉強
会も終り、町民の意志も固ま
りつつあると思うが市町村
合併の住民投票をする考え
はないですか。

町長

合併問題はいろいろ
な意見があるがアンケート調査
で中頭郡と言う方向にあり
事務研究会を設立し勉強す
る状況であり、合併は町民
が決するべきであると考え
るがイコール住民投票では
なく時によっては視野へ入
れて検討し、町民の合意得
られれば良いと思つ。

合併問題はいろいろ
な意見があるがアンケート調査
で中頭郡と言う方向にあり
事務研究会を設立し勉強す
る状況であり、合併は町民
が決するべきであると考え
るがイコール住民投票では
なく時によっては視野へ入
れて検討し、町民の合意得
られれば良いと思つ。

問

桐原一四三 二から森
川に通る農道は途中迄
修理されていますが担当課
の指導はどうなっています
か。

問

桐原一四三 二から森
川に通る農道は途中迄
修理されていますが担当課
の指導はどうなっています
か。

問

生涯学習課長 平成十三年
度公共用地取得検討委員会
で決定されているので変更
はできないが分館形式で上
地区は対応する。

問

津花波地区の構造改善
事業は農地の耕地面積
が小さい西原町にとって適
した事業であり行政上げて
事業の成功に尽くして頂き
たい。

津花波地区の構造改善
事業は農地の耕地面積
が小さい西原町にとって適
した事業であり行政上げて
事業の成功に尽くして頂き
たい。

問

桐原我下にある里道の
上に墓が造られている
が町はどのように指導して
いるか伺いたい。又去年の
久地の建売墓はどうなっ
ていますか。及び途中でゴミ
捨て場になってる所があ
るが町はどう考えています
か。

問

桐原我下にある里道の
上に墓が造られている
が町はどのように指導して
いるか伺いたい。又去年の
久地の建売墓はどうなっ
ていますか。及び途中でゴミ
捨て場になってる所があ
るが町はどう考えています
か。

問

健康衛生課長 この墓地は
個人所有の土地で許可を受
けずに違法建築され現況に
戻すように指導していま
す。又去年の建売墓は現状
に回復しドラゴンフルーツ
を栽培しています。又ゴミ
捨て場は看板を立ててパト
ロールを実施しています。

健康衛生課長 この墓地は
個人所有の土地で許可を受
けずに違法建築され現況に
戻すように指導していま
す。又去年の建売墓は現状
に回復しドラゴンフルーツ
を栽培しています。又ゴミ
捨て場は看板を立ててパト
ロールを実施しています。

問

いま、沖縄県介護保険
広域連合へ加入する
か否か論議されていますが町
長はどの様に考えています
か。

“市町村合併”と
沖縄県介護保険広
域連合への加入を
どう考える?



伊川幸子 議員

問

現段階での市町村合併
の考え方を伺いたい。
合併は誰が、いつ、
ねらいは何かきちつと整理
して結論を出すべきだと。
新年度は差し当たり、浦添、
宜野湾、北中、中城、西原
の五市町村でこれまでの連
絡協議会に県からの支援事
業を導入して、さらに深め
て研究した結果、そのメリ
ット、デメリットを判断し
て最終的に結論を出すべき
だと。その間に町民とは行
政懇談会を活用しながら意
向を収集していきたいとい
うふううに考えております。

現段階での市町村合併
の考え方を伺いたい。
合併は誰が、いつ、
ねらいは何かきちつと整理
して結論を出すべきだと。
新年度は差し当たり、浦添、
宜野湾、北中、中城、西原
の五市町村でこれまでの連
絡協議会に県からの支援事
業を導入して、さらに深め
て研究した結果、そのメリ
ット、デメリットを判断し
て最終的に結論を出すべき
だと。その間に町民とは行
政懇談会を活用しながら意
向を収集していきたいとい
うふううに考えております。

広域連合設立フローチャート

1 準備委員会職員駐在(3人)	平成13年4月16日
2 広域連合設立説明会	平成13年10月3日
3 広域連合参加市町村の集約	平成13年11月5日
4 参画町村決定	平成13年12月10日
5 部会派遣職員決定	平成13年12月
6 平成14年度 広域連合準備事務局 事業計画及び予算(案)作成	平成14年1月
7 介護担当課長・人事担当課長会議	平成14年2月
8 広域連合本部(仮)派遣職員決定	平成14年3月
9 県知事に事前協議書提出	平成14年4月
10 広域連合の設置・規約(案)議決	平成14年6月
11 県知事に広域連合の設立許可申請	平成14年7月
12 県知事よりの広域連合設立許可	平成14年7月
13 沖縄県介護保険広域連合設立	平成14年7月
14 広域連合長・議員選挙	平成14年8月
15 広域連合議会発足(初議会)	平成14年8月
16 広域連合業務開始	平成15年4月

介護保険はいろいろ
な見方があるが、本土と沖
縄は違うと言われています。
本土はどちらかというと在
宅型、沖縄は施設型と。
施設型は当然割高になり、
給付費は負担増を強いられ
ています。在宅がいいのか
施設がいいのかは別の機会
に検証せんといかんと考え
ています。広域連合に移行
した場合、保険料は統一化さ
れるかも知れませんが、給
付に対する負担率も応分の
負担をしなければならな
いだろう。移行することによ
りスケールメリットは出てく
るだろうが、スケールメリ
ット町民サービスになるか
は別の角度で検討する必要
があると考え、充分検討し
て最終的な結論は六月議会
に向けて出したいと。

介護保険はいろいろ
な見方があるが、本土と沖
縄は違うと言われています。
本土はどちらかというと在
宅型、沖縄は施設型と。
施設型は当然割高になり、
給付費は負担増を強いられ
ています。在宅がいいのか
施設がいいのかは別の機会
に検証せんといかんと考え
ています。広域連合に移行
した場合、保険料は統一化さ
れるかも知れませんが、給
付に対する負担率も応分の
負担をしなければならな
いだろう。移行することによ
りスケールメリットは出てく
るだろうが、スケールメリ
ット町民サービスになるか
は別の角度で検討する必要
があると考え、充分検討し
て最終的な結論は六月議会
に向けて出したいと。

さらにもう一点は職員の
派遣の問題であります。現
在五名体制でやっていますが、
連合に加入すると八月
から三名派遣になると、そ
れ以後の町の介護保険はど
う対応するのかという大き
な課題も抱えておりまし
て、合併問題とも絡んでま
いります。市はほとんど入
らないと、そうすると西原
が仮に与那原があるいは中
城との合併と仮定すれば連
合参加にあると、しかし他
のところと合併したら抜け
るのが、抜けられるのか、
リスクはあるのかないの
か、といういろんな問題が
あり一言で片付けられる問
題ではないというふううに考
えています。

問

町の船たまり場は荷さ
ばき施設がなく漁民は
困っているが整備の計画は
どのように考えています
か。

問

水産構造改善事
業は負担金が必要になっ
て来るので組合と調整して該
当する補助事業を取入れて
行きたいと思つています。

問

水産構造改善事
業は負担金が必要になっ
て来るので組合と調整して該
当する補助事業を取入れて
行きたいと思つています。